

モロッコ政治月報(8月)

2014年9月10日
在モロッコ大使館

8月のモロッコの動きを、当地報道を中心にとりまとめたところ、以下のとおりです。要人往来については末尾に一覧表を付しました。

なお、当政治月報は当月中にメディアで多く取り上げられた話題をその都度記録したもので、これらニュースについての当館及び日本政府の立場を何ら反映するものではありません。

【主な出来事】

◎モロッコ王立航空による西アフリカ便運航継続の決定

<内政・政局>

1 革命記念日に際するモハメッド6世国王による演説

(1) 20日、モハメッド6世国王は、第61回目の革命記念日に際して演説を行った。
(2) 演説の中で国王は、過去15年におけるモロッコの民主化への道のりや経済分野での課題に触れつつ、外交分野ではGCCやEU、米国との特に経済分野でのパートナーシップに言及するとともに、ロシアや中国との「戦略的パートナーシップ」についても強調した。

2 モロッコ王立航空による西アフリカ便運航継続の決定

(1) 11日、モロッコ王立航空は、今後状況に変化がない限り、エボラウィルスによる感染が発見されているギニア、リベリア、シエラレオネの発着便の運航を継続すると発表した。
(2) 同社のコミュニケは、「この決定はモロッコとこれら同胞国との連帯によるもの」と述べた。

3 イスラム国(IS)関係者の逮捕

(1) モロッコ司法警察は、国土監視総局(DGST)からの情報を元に、シリア及びイラクのテロ組織訓練施設へ向かうためにモロッコを出国する準備をしていた同組織の関係者と目される2名を逮捕した。
(2) 内務省のコミュニケによれば、この2名は「イスラム国」において軍事訓練と実地訓練を受け、同組織のシリア及びイラク以外での活動範囲の拡大という計画に沿って、

軍事訓練の知見をモロッコ国内に移転することを目的としていた。

<外交・国際関係>

4 米・アフリカ・リーダーズサミットへのベンキラン首相の出席

(1) 4-6日、ワシントンにて開催された米・アフリカ・リーダーズサミットに、モロッコからはベンキラン首相、メズアール外務・協力大臣らが出席した。

(2) 米側から招待されていたとされるモハメッド6世国王の出席はなかった。

(3) ラウンドテーブルにおいてベンキラン首相は、最近15年ほどのモロッコにおける経済成長について述べた後、これは強固な政治的安定性によって可能となったと強調した。

5 米モロッコのテロ対策における協力

(1) 7日、ブーアイダ外務・協力大臣付特命大臣とカイダノフ米テロ対策大使は、治安関係の訓練に関する三角協力を主な目的とした、テロ対策二国間協力協定に署名した。

(2) 同協定の元で両国は、マグレブやサヘル地域において、治安部隊の隊員の養成といった分野で地域の能力を向上させるべく尽力していくことになる。

6 プロヴァンス上陸記念日式典へのベンキラン首相の出席

(1) 15日、仏のトゥーロンにて行われたプロヴァンス上陸記念日式典に、ベンキラン首相が出席した。

(2) 現地でベンキラン首相は、オランド仏大統領やヴァルス仏首相より歓迎を受け、モロッコ側外交筋は、本式典が仏とモロッコの外交的いざこざが終結するきっかけとなるのではないかと語った。

<モロッコ要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
8月4日	米国	ベンキラン首相	米アフリカ・リーダーズサミット出席
8月4日	米国	メズアール外務・協力大臣	米アフリカ・リーダーズサミット出席
8月4日	米国	エル・アラミ産業・商業大臣	米アフリカ・リーダーズサミット出席
8月4日	米国	ブーアイダ外務・協力大	米アフリカ・リーダー

		臣付特命大臣	ズサミット出席
8月15日	仏	ベンキラン首相	プロヴァンス上陸70周年式典
8月27日-	トルコ	ベンキラン首相	エルドアン大統領就任式出席

<外国要人のモロッコ訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
8月12日	マリ	シラ外務大臣	ベンキラン首相表敬等
8月27日	スペイン	ディアス内務大臣	ハッサド内務大臣と会談

(了)